

ポリエンド トラッカーミニ 必需品

重要な参考文献のコレクション

ポリエンドトラッカーミニ用

概要

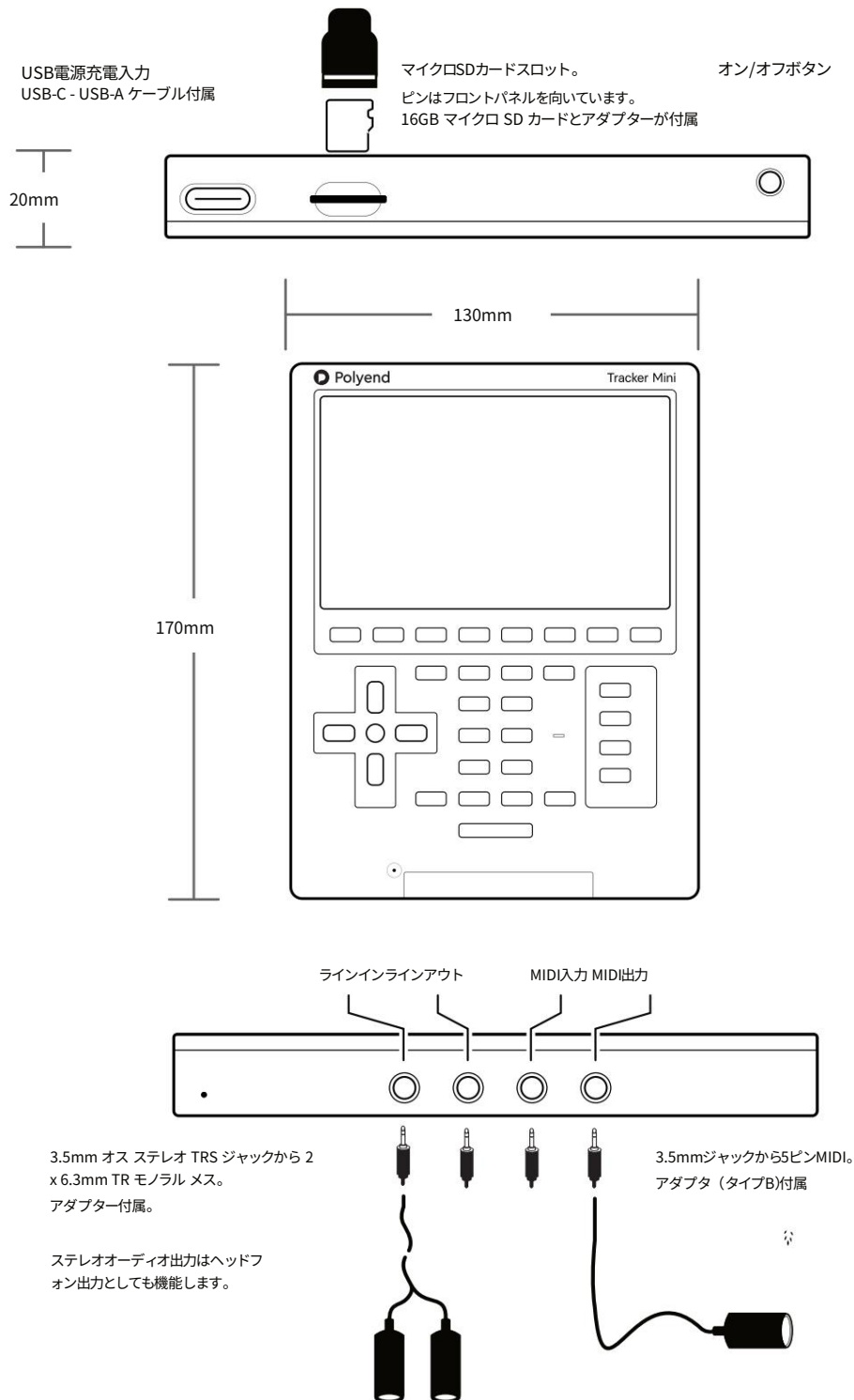
Polyend Tracker Mini は、Polyend のデスクトップ トラッカーのハンドヘルド バージョンです。これは、80 年代後半に主にゲーム機、その後パーソナル コンピュータで音楽作成ツールとして登場した古典的なソフトウェア音楽アプリケーションを最新のハードウェアで実装したものです。トラッカーは、通常はサンプルと関連パラメータをトリガーする一連の線形ノートを組み立てるユーティリティです。標準のデジタル オーディオ ワークステーション (DAW) とは異なり、トラッカーは通常、トラックを再生するときに上から下に行われます。トラッカーには通常、フォロワーのニッチなコミュニティがあり、他の DAW と同じ高さの人気に達することはありませんでした。Polyend Tracker Mini はその関心を再燃させ、Tracker の構成機能をポータブルかつ即時形式で提供します。この風変わりな音楽制作スタイルのプログラミングにだまされしないでください。これは珍しいように見えるかもしれませんが、制作に対して非常に強力な創造的なアプローチを提供します。Polyend Tracker Mini は、このピンチ アプリケーションをモダンでスタイリッシュに表現します。

8 つのシーケンスされたトラックとさまざまなエフェクト、MIDI およびオーディオ出力、および複数のワークフロー環境を備えたハンドヘルド ボックス。小型のフォームファクターと充電式バッテリーを備えた Tracker Mini は、理想的なポータブルな「オールインワン」ワークステーションです。

機能セットは幅広く、興味深いクリエイティブな機能がいくつかあります。Tracker Mini は使用するのが特に難しいツールではありませんが、中核となる概念とワークフローが珍しく、あまり馴染みがないため、使い始めるのが少し難しく、学習曲線が長くなる可能性があります。これは音楽制作における異なるひねりによるものかもしれませんが、まあ、それが楽しいのです。このガイドは、学習のスピードアップを支援し、デバイスを最大限に活用することを目的としています。いつものように、Synthdawg ノートブック スタイルでは、メモを追加してガイドブックを自分専用にすることができます。Tracker Mini の旅は珍しいものですが、楽しいと同時に、やりがいのある結果をもたらす強力な音楽制作ユニットでもあります。楽しむ。

トラッカーミニエッセンシャル

ハードウェアの概要



ノート

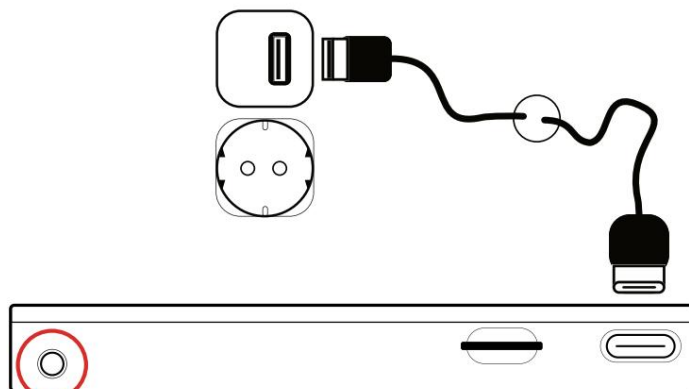
起動する

Tracker Mini は内蔵の充電式バッテリーから電力を供給され、付属の USB ケーブルと充電器を使用して充電されます。Tracker Mini を再起動すると、以前に開いていたプロジェクトが再度開きます。

■ トラッカーミニの電源オン/オフ

1. Tracker Mini を充電するには、付属の USB-C 電源ケーブルを Tracker Mini と付属の USB プラグの間に接続してユニットを充電します。
Tracker Mini を充電すると、USB 電源が接続されていなくても動作します。
2. Tracker Mini が動作するために SD カードが正しく取り付けられていることを確認します。
ピンはフロントパネルに向かって上を向く必要があります。
3. 電源を入れるには、正面から見て右上にある小さな電源オン/オフ ボタンを 1 秒間押し続けます。起動すると、以前に開いたプロジェクトが開きます。
4. 電源をオフにするには、タイマー バーが終了するまで、右上 (上から見て) にある小さな電源ボタンを押し続けます。その後、Tracker Mini の電源がオフになります。
5. ユニットがオフのときにバッテリーの充電を確認するには、電源ボタンをすばやく押します。バッテリーインジケータが短時間表示され、充電状態を示します。電源がオフのときに電源ケーブルが接続されている場合、バッテリーの状態も表示されます。

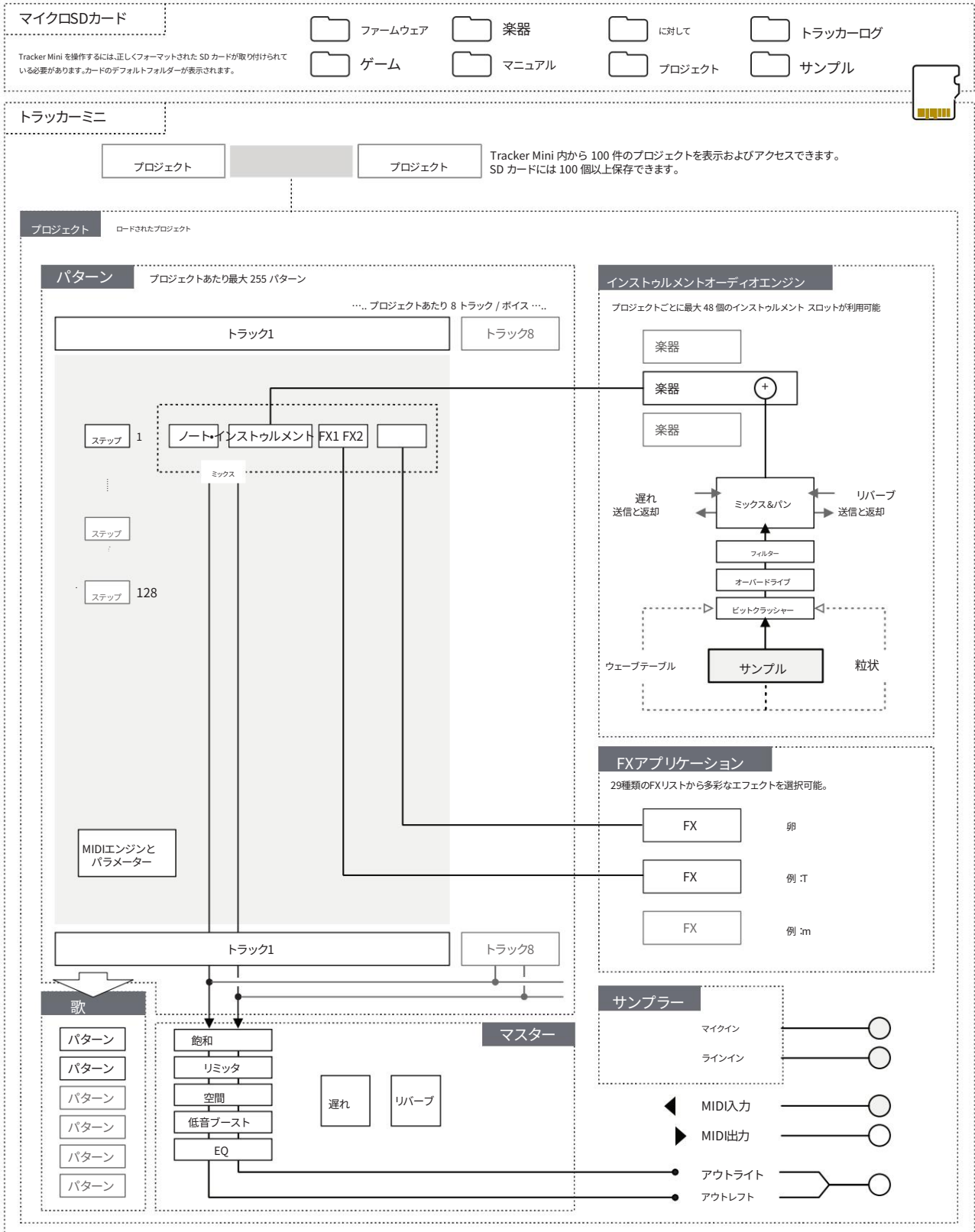
充電電源は、付属の主電源から USB アダプターへの 5V,2A です。



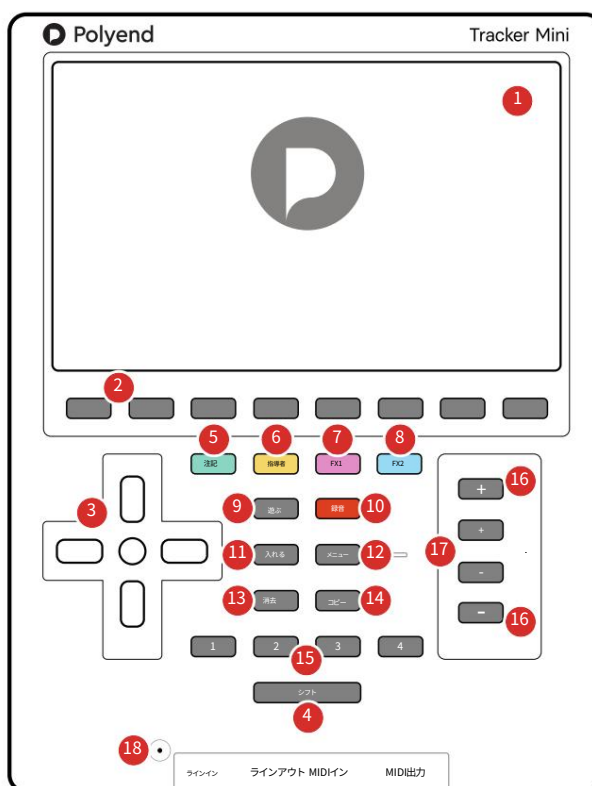
オン/オフボタンを押し続けると電源が入ります
オン/オフボタンを長押しして電源を切ります

トラッカー ミニの必需品

トラッカーミニオーディオ構造



トラックー ミニの必需品



- 1 LCDディスプレイ
5 インチ、LCD TFT 800 x 480 ディスプレイ。
- 2 画面ボタン
動的[画面ボタン]は、各ボタンの上に表示される機能に依存します。
- 3 D-Pad ナビゲータ ボタン
4 つのナビゲーション パッド ボタン (上)、(下)、(左)、(右) と 1 つの (Enter)。グリッドとオプションを操作します。
- 4 シフトボタン
[Shift] + 別のボタンを押すと、その二次機能が選択されます。
- 5 専用ノートボタン
ステップの[Note]要素の選択。
- 6 専用楽器ボタン
ステップの[インストゥルメント]の選択。
- 7 専用FX1ボタン
ステップの[FX1]のエフェクト選択。
- 8 専用FX2ボタン
ステップの[FX2]のエフェクト選択。
- 9 再生ボタン
パターンまたはソングの[Play]を押すと再生されます。もう一度押すと再生が停止します。もう一度プレイが再開されます。
- 10 録音ボタン
[Rec]を押すと、パターン編集時の録音モードのオン/オフを切り替え、設定を行います。
- 11 挿入/ホームボタン
[挿入]を押すと挿入されます。[Shift] + [Insert] を押すと、「ホーム」、つまりパターンの先頭に戻ります。
- 12 メニューボタン
押し続けるとメニューが開きます。ナビゲートして、利用可能なオプションから選択内容を強調表示します。放して選択します。
- 13 削除ボタン
[削除]を押すとリセットまたは元に戻ります。
[Shift] + [Delete] を押すと、選択した項目がバックスペースで削除されます。
- 14 コピーボタン
[コピー]を押すと、選択した項目がコピーされます。
コピーした項目を貼り付けるには、[Shift] + [コピー] を使用します。
- 15 機能ボタン
割り当て可能な機能ボタン。デフォルト: 1 - パターン、2 - インストゥルメント、3 - サンプル再生、4 - マスター。
- 16 [+]/[-] ボタンをマスターする - コース
マスターボリュームを +/- 大きな増分で調整します。また、特定のメニュー内で値を移動および調整します。
- 17 マスター [+]/[-] ボタン - 細かい
マスターボリュームを +/- 細かく増加させます。
また、特定のメニュー内で値を移動および調整します。
- 18 マイクロフォン
内蔵マイク。

トラッカー ミニの必需品

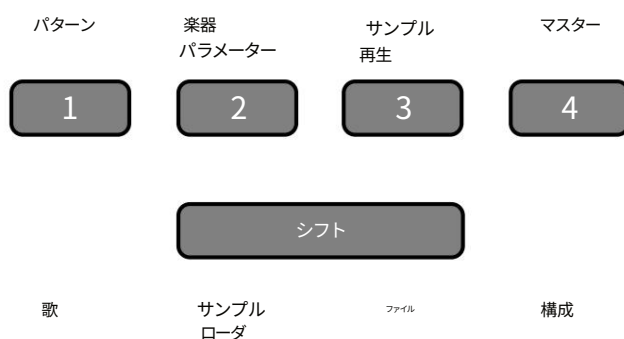
機能ボタン。

4つの専用機能ボタンがあり、8つの事前定義されたページに素早くアクセスできます。最初の4つの機能には1～4の番号が付けられており、[Shift]を使用して追加の4つの機能セットも用意されています。これらの機能ボタンは割り当て可能であり、さまざまなページ オプションに再構成できますが、ワークフローを構築するにはデフォルトから始めることをお勧めします。

割り当て可能なファンクションボタンを使用する

いずれかの機能ボタンをタップするか、[Shift] + タップを使用して、定義したページにすぐにアクセスします。割り当てられているデフォルトのページを以下に示します。

[1]～[4]を押して、定義された機能ページを選択します



[Shift] + [1] - [4] を押して、定義された機能ページを選択します

ファンクションボタンを押すとメインページが選択されます。複数のページが存在する場合は、それぞれの機能ボタンをタップし続けて、利用可能なページを順番に切り替えます。

機能ボタンに割り当てることができる機能は12個あり、各ボタンに2つずつ、最大8つのスロットが使用可能です。デフォルトで割り当てられている機能以外に、「サンプルレコーダー」、「サンプルエディター」、「パフォーマンス」、「ゲーム」機能をデフォルト設定の代わりに割り当てすることもできます。ページをボタンにバインドするプロセスについては、構成設定セクションで説明します。

このマニュアルで説明するプロセスは、ここで説明されているデフォルトの機能ボタンの割り当てを前提としています。[メニュー] オプションは、特定の機能ページを選択する別の方法です。

ノート

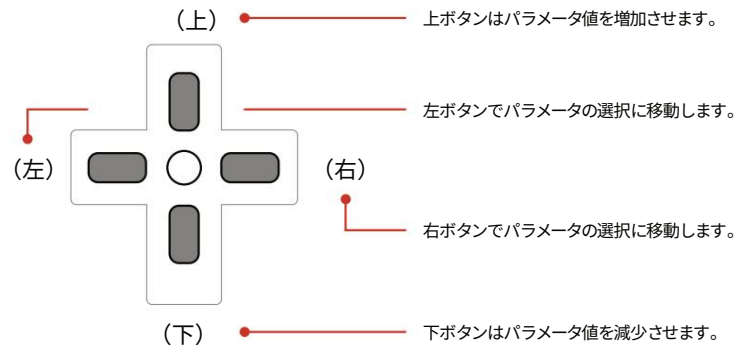
汎用コントロール。

ページには、選択すると値を調整できるパラメータと関数が含まれる場合があります。これらのコントロールはメニュー内でも移動します。

パラメータ編集

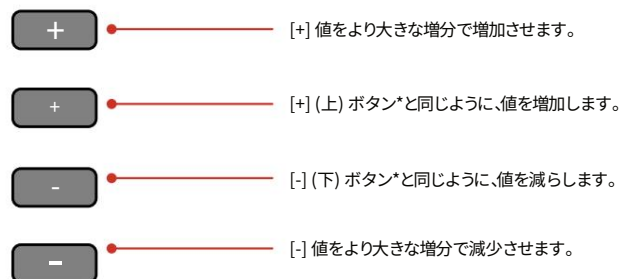
編集するパラメータを含むページを選択する必要があります。たとえば、「マスター」ページには一連の調整可能な設定が含まれています。ハイライトされ選択されたパラメータは赤い境界ボックスで示されます。D-Pad Navigator および +/- ボタンを使用するときに変更されるのはこのパラメータです。

D-Pad ナビゲーション



- 中央のナビゲーション ボタンは通常、「選択」または「入力」ボタンとして機能します。

マスター +/- ボタン



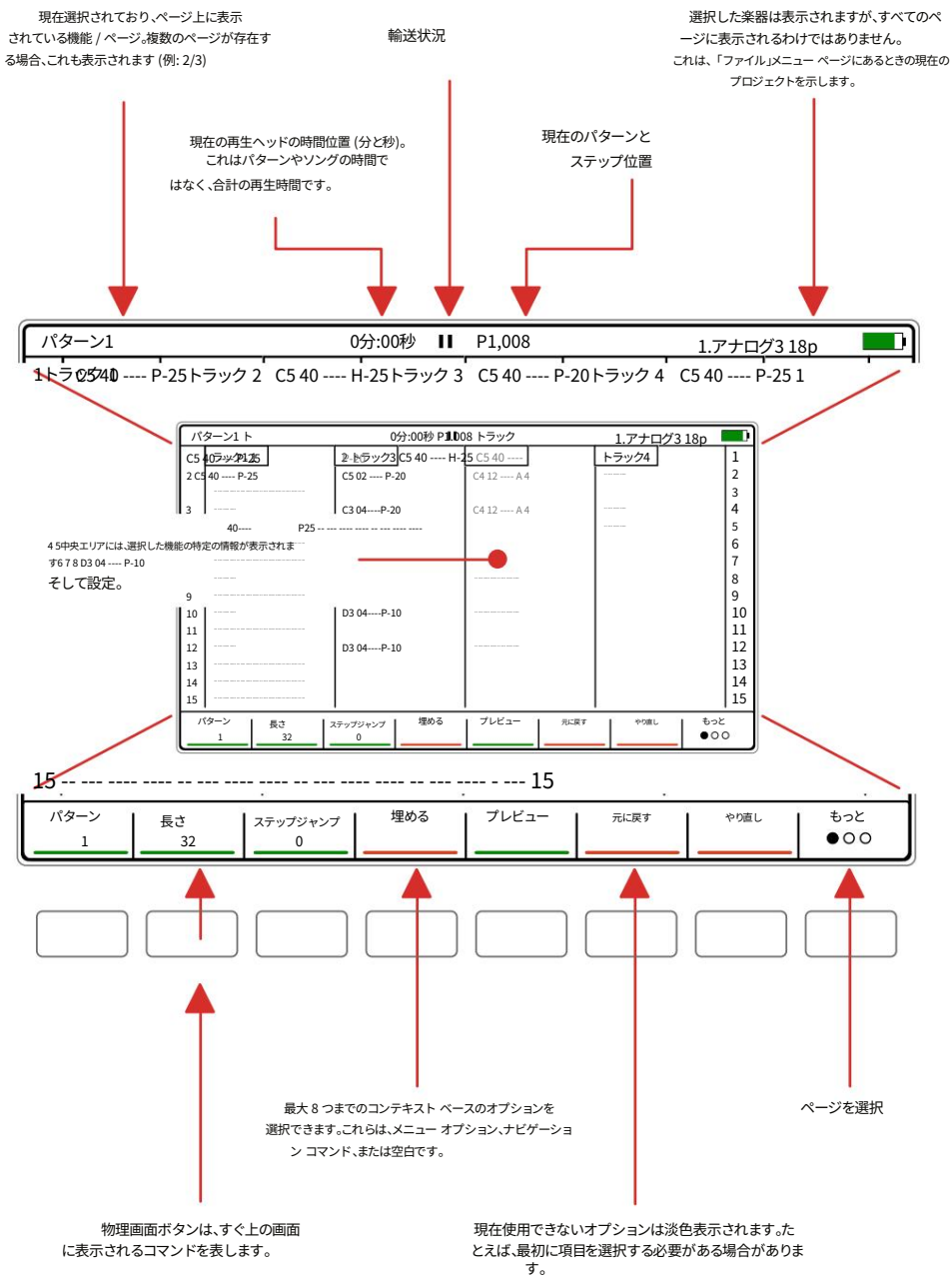
固定ページ メニュー オプション内では、D-Pad ナビゲーション ボタンと +/- マスター ボタンを使用して、利用可能なオプションをスクロールします。このオプションは、強調表示されると自動的に選択されます。それぞれの画面ボタンをページ内で繰り返し押すと、メニュー オプションを循環することもあります。

* 一部のメニューおよび値設定オプションでは、内側の +/- および方向パッドの上下が同様の方法で動作する場合があります。

トラッカー ミニの必需品

ページレイアウト。

各ページには、選択した機能の情報と制御オプションが表示されます。これは状況に応じて固有のものかもしれませんが、Tracker Mini のすべて (またはほとんど) の汎用ページに適用される共通の機能とナビゲーション原則がいくつかあります。



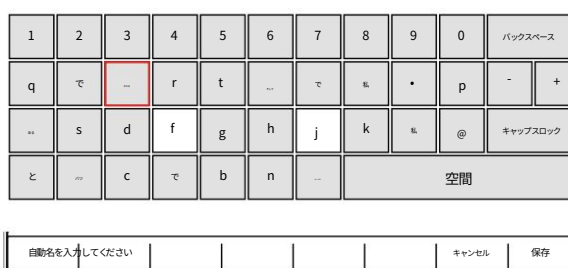
トラッカー ミニの必需品

ノート

QWERTYキーボード。

一部のページでは、トラックやプロジェクトなどに名前を付けるためにテキスト編集が必要になります。英数字ポップアップ エディタを使用する場合は常に同じ機能が適用されます。画面に QWERTY キーと編集するテキストが表示されます。画面のボタンは、十字キーのナビゲーター ボタンで編集を実行している間、入力、キャンセル、または保存に使用されます。自動命名もオプションです。

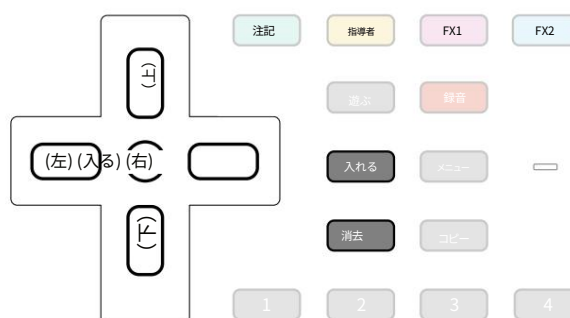
画面には、QWERTY 配列でキーが表示されます。



文字とタイトルは、(上)、(下)、(左)、または (右) を使用して選択でき、中央の D-Pad ナビゲーター ボタンを押すか、[挿入] または[Enter]を押します。第 1画面ボタンを押して、選択した文字を選択して追加します。

画面左から7番目のボタン「キャンセル」も可能です。

完了したら、[保存] - 8 番目の画面ボタンを使用して名前を保存して保存します。



Tracker Mini ボタンは、名前付けエディター画面が表示されると、その画面で動作します。

- D-Pad (上)、(下)、(左)、(右) を使用して、キーボード上の選択項目を移動します。名前が強調表示されている場合、名前のテキスト内を左/右に移動することもできます。
- D-Pad Navigator (Centre) ボタンまたは [Insert] を使用すると、現在の強調表示された文字がカーソル位置の名前に入力されます。画面ボタンのオプションもあります。
- [Delete] を押すと文字が削除され、[Shift] と併用するとテキスト カーソルの位置から名前内をバックスペースします。

トラッカー ミニの必需品

構成オプションの概要

「Config」メニューでは多くのオプションを設定できます。始めるにはこれらのデフォルトで十分かもしれませんが、特定の変更を加えた方が特定のワークフローや状況により適している場合があります。これらの詳細については関連セクションで説明し、ここではグローバル設定の概要のみを説明します。

設定オプション

メニュー	オプション	説明
プロジェクト設定	パフォーマンスのプリセット	パフォーマンス プリセットをグローバル設定として保存することも、各プロジェクトのローカルに保存することもできます。
プロジェクト設定	パターンディバイダー	選択したステップのハイライト レベルを設定して、パターンの視覚化を向上させます。
プロジェクト設定	アンチエイリアシング	アンチエイリアシングを「オン」に設定すると、サンプル再生のサウンドがよりクリーンになります。Offはよりローファイなビンテージ感が漂います。
プロジェクト設定	リミッターモード	リミッターのアタックとリリースの特性を繊細なものから極端なものまで設定します。
プロジェクト設定	送信モード	センドをプリフェーダーに設定します。つまり、ボリュームやポストフェーダーとは独立しています。
プロジェクト設定	余分なヘッドルーム	出力オーディオに余分なヘッドルームを追加して、クリッピングを回避します。
プロジェクト設定	ゼロにスナップ	オーディオのクリック音を避けるために、開始マーカと終了マーカをゼロ交差点にスナップします。
一般的な	ディスプレイの明るさ	7 インチ ディスプレイの輝度レベルを 3 つの設定の間で調整します: 高、中、低。
一般的な	表示テーマ	画面の配色。オリジナルは背景が暗いのにに対し、モノクロは明るいです。
一般的な	表示フォント	テキストのフォントオプション。オリジナルはクラシックなコンソールの外観を持っていますが、「新しい」は小さく、より標準的です。
一般的な	録音オプション	記録する内容のオプション、つまりノート、クオンタイズ、マイクロタイミング、ベロシティを設定します。
一般的な	ナンバリングモード	すべての数値を 16 進数または 10 進数で開始するステップ 1 または 0 形式に設定します。クラシックなトラッカーのルックアンドフィールに使用されます。
一般的な	柄の配置	パターン表示を従来の垂直表示または代替の水平表示に設定します。
一般的な	パターントップ情報	パターン画面の上部にトラック名、追加情報のみを表示するか、オフにします。
一般的な	ラインインチャンネル	ステレオ、モノラル左、またはモノラル右の間のラインのオーディオ物理入力を選択します。

トラッカー ミニの必需品

メニュー	オプション	説明
ミディ	クロックイン	マスタークロックのソースを内部 (デフォルト) または外部 USB または MIDI 入力ジャックに設定します。
ミディ	クロックアウト	Tracker Mini のクロック出力を設定します。オフ、USB、MIDI 出力ジャック、USB + MIDI 出力ジャック。
ミディ	搬入	トランスポート コントロール コマンドのソースを内部 (デフォルト) または外部 USB または MIDI 入力ジャックに設定します。
ミディ	搬出	トランスポート制御コマンドの出力を、オフ、USB、MIDI 出力ジャック、または USB + MIDI ジャックのオプションに設定します。
ミディ	ノートイン	外部ノートの入力ルーティングを設定します。オフ、USB、MIDI In ジャック、または USB+MIDI ジャックのオプションに設定します。
ミディ	ノート入力チャンネル	外部機器から入力されるノートの MIDI チャンネルを設定します。 [すべてのチャンネル] または [Ch 1 ~ 16] を選択します。
ミディ	MIDI出力	MIDI 出力ルーティングを、オフ、USB、MIDI 出力ジャック、または USB+MIDI ジャックのオプションの間で設定します。
ミディ	CCイン	CC (コントロールチェンジ)入力ルーティングをオフ、USB、MIDI Inジャック、USB+MIDI Inジャックに設定します。
ミディ	CCインチャンネル	CC (コントロールチェンジ)受信メッセージのMIDIチャンネルを設定します。 [すべてのチャンネル] または [Ch 1 ~ 16] を選択します。
ミディ	中央のC	中央のCをC-3、C-4、C-5、C-6に設定します。外部ギアを使用して Tracker Mini の範囲を調整します。
ミディ	Clock Sync Correction	受信同期の遅延補正。
メトロノーム	州	ライブ録音時のメトロノームをオンまたはオフにします。
メトロノーム	プレロール	録音を開始する前に 4 のカウントを提供します。
メトロノーム	拍子記号 num	拍子記号の上位分子
メトロノーム	拍子記号 denum	拍子記号の下位分母
メトロノーム	音量	メトロノームの音量レベル

トラッカー ミニの必需品

メニュー	オプション	説明
ファームウェア	ファームウェアのアップデート	SD カードの「ファームウェア」フォルダーにある OS に基づいてファームウェアのアップデートをアクティブ化します。
ファームウェア	現行版	インストールされているOSの現在のバージョンを表示します。視覚的なインジケータのみ。
ファームウェア	建てる	ファームウェアのビルドバージョン表示
ファームウェア	設定をリセットする	この設定メニューをデフォルトの元の設定にリセットします。
Fnボタンのバインド	Fn1	ファンクションボタン[1]に関連付けられたページを設定します
Fnボタンのバインド	Fn2	ファンクションボタン[2]に関連付けられたページを設定します
Fnボタンのバインド	Fn3	ファンクションボタン[3]に関連付けられたページを設定します
Fnボタンのバインド	Fn4	ファンクションボタン[4]に関連付けられたページを設定します
Fnボタンのバインド	Fn1+Shift	ファンクションボタンのコンボ [Shift] + [1] に関連付けられたページを設定します
Fnボタンのバインド	Fn2+Shift	ファンクションボタンのコンボ [Shift] + [2] に関連付けられたページを設定します
Fnボタンのバインド	Fn3+Shift	ファンクションボタンのコンボ [Shift] + [3] に関連付けられたページを設定します
Fnボタンのバインド	Fn4+Shift	ファンクションボタンのコンボ [Shift] + [4] に関連付けられたページを設定します
情報	..	追加情報

トラッカー ミニの必需品

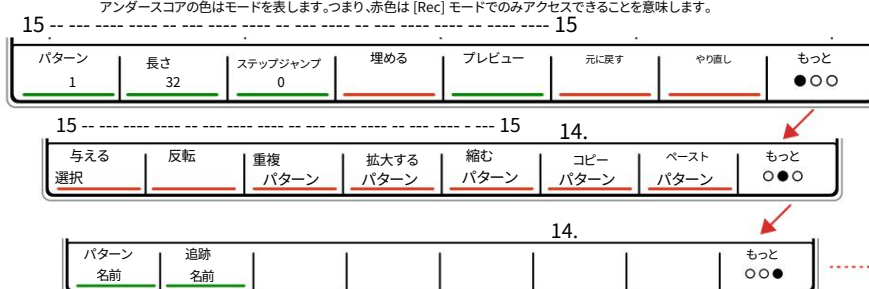
パート

パターンを設定します。

パターンとステップの編集は「パターン」モードで実行します。最初の要件は、後でステップを追加してメロディーやビートを作成できるパターン自体を作成することです。パターンのコマンドは、ページの下部にある動的画面ボタンから利用できます。これらはモードまたは選択内容に応じて変化します。

ページの下部にある動的画面ボタンは、パターン作成のオプションを制御します。

アンダースコアの色はモードを表します。つまり、赤色は [Rec] モードでのみアクセスできることを意味します。



メニューオプション	関数	説明
パターン	パターンの選択	編集するパターンを選択します。これにより、プロジェクト内の 1 ~ 255 のパターン番号が選択されます。
長さ	パターンの長さ	パターン内のステップ行の数を調整します。デフォルトは 32 ですが、パターンでは最大 128 行を使用できます。
ステップジャンププログラミング補助		パッドによるステップの記録を支援します。定義されたステップで選択カーソルを自動的にジャンプします。
埋める	プログラミング支援	プログラミング手順を支援します。定義された選択基準に基づいてステップを自動的に入力します。
プレビュー	インストゥルメントのプレビュー	サウンドをプレビューできるように、ステップごとに楽器を演奏します。
元に戻す	最後を元に戻す指示	利用可能な場合、最後のアクションの前の状態をリセットし、最後の (最大 20 個の) コマンドを事実上元に戻します。
やり直し	最後をやり直す指示	利用可能な場合は、最後のアクションの後に以前の状態を復元し、最後の (最大 20 個の) コマンドを効果的に再実行します。
与える選択	オーディオをパワンスする	選択範囲を新しいオーディオ サンプルにレンダリングします。他の場所で使用したり、トラックの消費を削減したりするのに役立ちます。
反転	ステップを反転する	選択範囲内のすべてのステップを垂直に反転します。
重複パターン	パターンを拡張します	パターン全体とそれに関連するステップを延長し、パターンの長さを 2 倍に延長します。
拡大するパターン	パターンを拡張します	既存のステップの間に空白のステップを追加してパターンを延長し、パターンの長さを 2 倍に延長します。
縮むパターン	契約パターン	2 ステップごとに削除してパターンの長さを短縮し、パターンの長さを半分に短縮します。
コピーパターン	コピー	パターン全体を仮想クリップボードにコピーします。
ペーストパターン	ペースト	仮想クリップボードからコピーしたパターンを現在の位置から始まる場所に貼り付けます。
パターン名前	パターンに名前を付けます	英数字キーボードを開き、現在のパターン名を変更します。
トラック名	トラックに名前を付けます	英数字キーボードを開いて現在のトラック名を変更します。
もっと	ページの変更	コマンドの次のページを選択します。

トラッカー ミニの必需品

パターンモードのページレイアウトオプション。

パターンとステップの編集は、デフォルトで割り当てられているボタン [1] を押すか、[メニュー] を使用して選択される「パターン」モードで実行されます。ステップを編集する場合は、[Rec] を選択します。パターンモードビューは設定オプションで変更できます。

[Shift] + [Insert] を押して、カーソル位置をステップ 1 の先頭にリセットします。

構成設定でトップバーのパターン情報を変更します: [一般] > [パターントップ情報]
 トップバー: オフ、トラックのみ、または追加情報

ステップロウ

グリーンプレイまたはレッドレックモード

ステップを選択するには
 (上) または (下) を押して、トラッカー ミニ グリッド内を垂直に移動します。矢印キーを使用すると、カーソルが終点を越えて始点に折り返される

(左) または (右) を押して、トラッカー ミニ グリッド内を水平方向に移動します

8 トラックビューに切り替えます。
 8 つのトラックすべてにわたって 1 つの要素を表示します。

トラック1	トラック2	トラック3	トラック4	トラック5	トラック6	トラック7	トラック8	パターン	長さ	ステップジャンプ	埋める	プレビュー	元に戻す	やり直し	もっと
---	C5	---	---	---	---	---	---	1	32	0					
---	C5	C4	D2	---	---	---	---								
---	---	C4	---	---	---	---	---								

[1] + [ノート] - ノートパラメータのみを含む 8 トラックすべてを表示します。

[1] + [楽器] - 楽器パラメータのみを含む 8 つのトラックすべてを表示します

[1] + [FX1] - FX1 パラメーターのみを含む 8 トラックすべてを表示します。

[1] + [FX2] - FX2 パラメーターのみを含む 8 トラックすべてを表示します。

[1] + 最大 2 つのパラメータ ボタンの組み合わせ (ノート、インストゥルメント、FX1、FX2) を押すと、8 つのトラックにわたってトラックごとに 2 つのパラメータが表示されます。

[1] を押すと 4 つのトラックに戻り、すべてのステップパラメータが

ノート

専用のステップパラメータボタン。

ステップは、音符やビートの演奏、MIDI アクションのアクティブ化などのイベントをトリガーする構成要素であり、パターンの作成に使用されます。ステップは、パターン シーケンス内の 8 つの利用可能なトラックのそれぞれを表すパターン行全体にプログラムされます。

ステップは 4 つの主要コンポーネントの組み合わせであり、それぞれに専用の選択ボタンがあります。

注記。これはステップのピッチを設定し、サンプルマップされたドラムヒットに基づいてメロディーやビートを作成する場合に重要です。

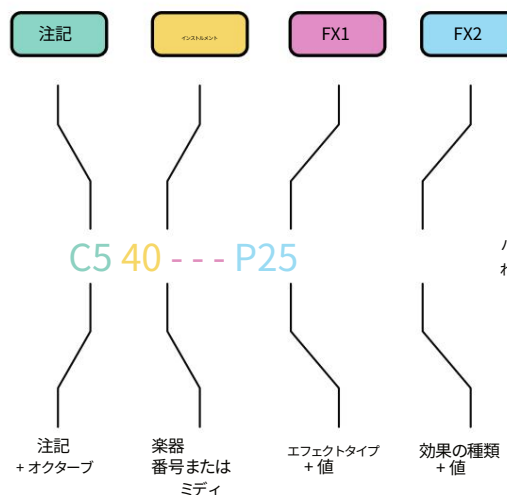
楽器。これは、サンプルとそれに割り当てられたパラメータおよび設定の組み合わせです。MIDI チャンネルの設定にも使用します。

FX1。モジュレーションとオーディオエフェクトをステップに適用できる最初のエフェクトスロット。

FX2。モジュレーションとオーディオエフェクトをステップに適用できる 2 番目のエフェクトスロット。

ステップ専用パラメータボタン

パターンページは [1] を押すか [メニュー] から選択しますが、ノート、インストゥルメント、FX1、FX2 には選択したステップを編集するための専用ボタンがあります。



パラメータは専用のステップファンクションボタンに合わせて色分けされています。

C5 40 ---- P25

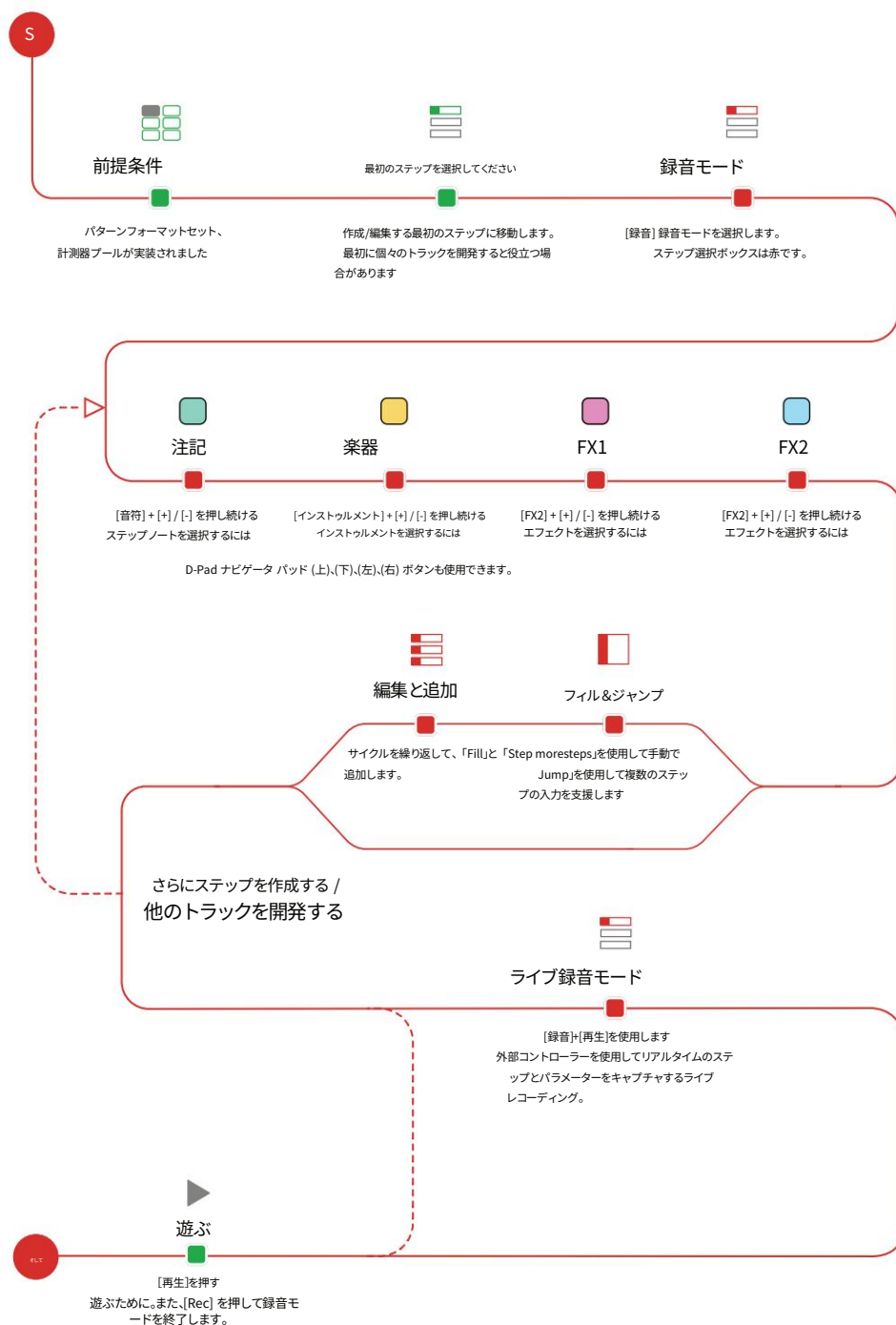
ステップ選択ボックスでは、選択したオプション パーツが単色で表示されます。
例: ここではメモが強調表示されています。

トラッカー ミニの必需品

ステップ作成の流れ

ステップは Tracker Mini でシーケンスされ、各ステップにはノート、インストゥルメント、および 2 つの FX スロット オプションが含まれています。これらに関連性のあるトラックに構造化することをお勧めします。たとえば、トラック 1、特に開始点のキックドラム。

ノート



ノート

手動ステップ入力

録音 パターン内のステップを編集するには録音モードをオンにします

	トラック1	トラック2	トラック3	トラック4
ステップジャンプ 1	C5 40 ---- P25		D6 03 ---- V 10	D6 03 ---- V 10
ステップジャンプのみ (入力)			D6 03 ---- 30歳のC5	
ステップジャンプ 2			D6 03 ---- 50年代	

ステップは個別に追加できます。
例: [ノート] を押したまま、(上)、(下)、(左)、(右) で移動して、ノートグリッドからノートを選択します。

後続のステップは、Dパッドナビゲーター (Enter) ボタンを押すと記録されます。これにより、選択したノートパラメータが、「ステップジャンプ」間隔で定義された行に繰り返し記録されます。

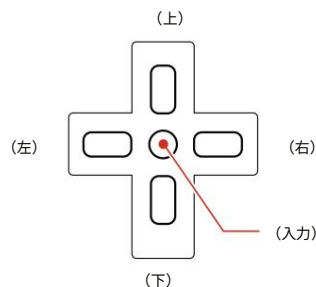
[Shift] + (上) または (下) で複数のステップ行を選択します。
複数のトラックにわたっても [Shift] + (左) + (右)

一番上の行で [Shift] + (上) を押すと、トラック内のすべてのステップが選択されます。
[Shift] + (上) + (上) を押すと、すべてのステップが選択されます。

既存のパラメータの編集は同時に行うことができませんが、それはパラメータがすでに設定されている場合にに限られます。これらの変更は元の値に対する相対的なものです。ステップの割り当てられていない要素は空のままになります。

録音モードで (Enter) ボタンを押すと、音符と楽器が後続のステップに録音されます。
選択されているノートまたはインストゥルメントが FX パラメーターに適用されていない場合に適用されます。

パターン内を移動するための D-Pad Navigator。



ステップパラメーターの値を編集するためのマスター [+]/[-]。

- [+] 空のステップ: 「C5」ノートを配置します
既存のノート: 1 オクターブずつ増加
- [+] 空のステップ: 「C5」ノートを配置します
既存の音: 半音ずつ増加
- [-] 空のステップ: 「FAD」コマンドを配置します
既存の音: 半音下げる
- [-] 空のステップ: 「OFF」コマンドを配置する
既存のノート: 1 オクターブデクリメント

C5 03 ---- V 50	選択されたノート、C5。
C5 03 ---- V 50	選択された楽器、楽器 #3。
C5 03 ---- V 50	FX1 が選択されており、エフェクトは適用されません。
C5 03 ---- 50	FX2 を選択、ボリューム = 50。

専用パラメータボタンをクイックタップして選択をロックします (例: 編集用の [インストゥルメント])

トラッカー ミニの必需品

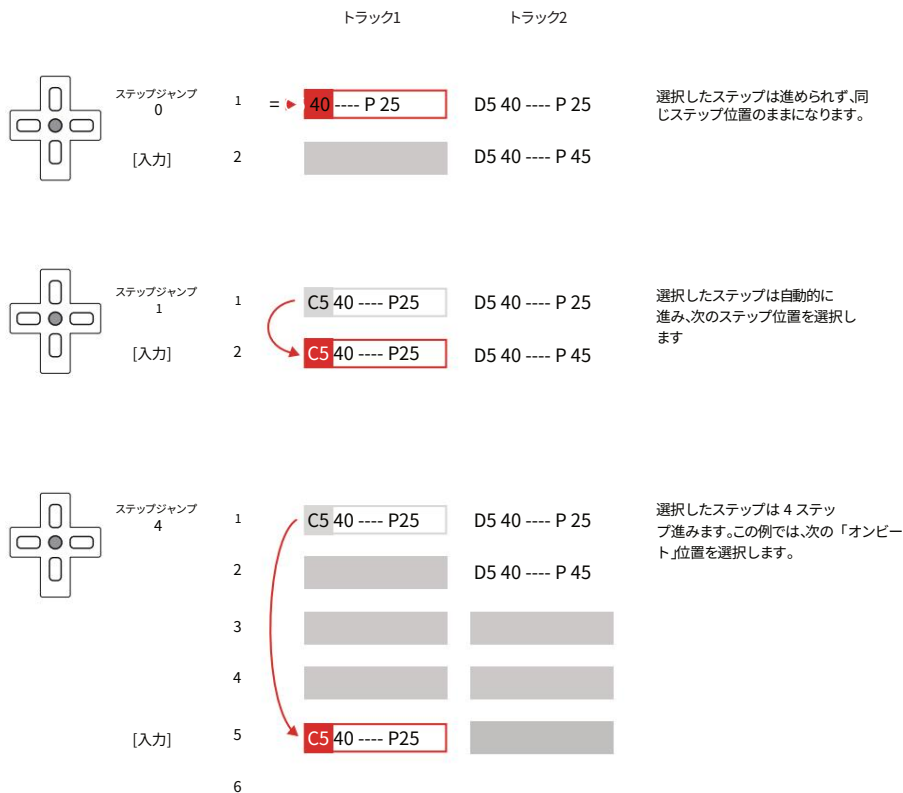
ノート

D-Pad (Enter) ボタンを使用してステップを追加すると、完了時にアクティブなステップが自動的に次のステップに進みます。この間隔は「ステップ ジャンプ」機能に基づいています。これは、定義された間隔でパターンを作成し、ワークフローを高速化するのに役立ちます。[+]/[-]ステップ入力方式ではステップジャンプは動作しません。

ステップジャンプの例

記録

パターン内のステップを編集するには録音モードをオンにします



ステップ ジャンプ設定は、特定の間隔 (たとえば、各オンビート ステップ、各オフビート ステップ、またはパーカッションの代替ステップなど) を入力するときに便利です。これにより、ワークフローが高速化され、興味深いシーケンスを作成するのに役立ちます。

ノート

FXステップ。

2つのFXスロットには、FXエフェクトのライブラリから挿入できます。各FXには、エフェクトタイプと関連する値があります。

FXタイプの説明	
-	なし。空のFX1またはFX1エフェクト。エフェクトは適用されません。
!	オフ。前のエフェクトステップで使用されたエフェクトをオフに切り替えます。
で	MIDIのボリュームまたはベロシティ（ノートオフ）。
P	ステップ音をステレオプレーンの左/右に定位します。
ま	マイクロチューン。ノートとMIDIアウトのピッチの微調整。
G	前のノートから現在のノートまでのグライド時間 - ノートのピッチに基づきます。
T	テンポの変更。パターンテンポを変更します。
.	スイング。任意のステップトラックからのスイングをパターン全体に適用します。
←	マイクロムーブは、ステップの位置を少しずつ前方に移動します。
q	ゲートの長さ。ステップノートのゲートの長さを調整します。
C	Chanceはノートが演奏される確率です。
R	ロール、ビートは音を繰り返します。ボリュームやピッチの増減のオプションもあります。
	ピッチベースのメロディーを作成するためのアルペジエーター。(MIDIコードも必要です)
n	ランダムなメモ。ランダムに再生するノートの範囲を設定します。
.	ランダムな楽器。ランダム再生する楽器の範囲を設定します。
f	ランダムFX。選択した範囲からランダムなFXをステップに設定します。
v	ランダムボリューム。各サイクルにランダムな速度変動を設定します
r	サンプルを逆再生します。最初から最後までプレイしました。
p	サンプルの開始、ウェーブテーブル、または細かい位置の再生位置を設定します
S	ステップに対して選択したスライスを再生します - スライスされたサンプル
g	ボリューム LFO レート
h	パンニング LFO レート
j	フィルター LFO レート
k	位置 LFO レート
.	LFOレートを微調整する

トラッカー ミニの必需品

ノート

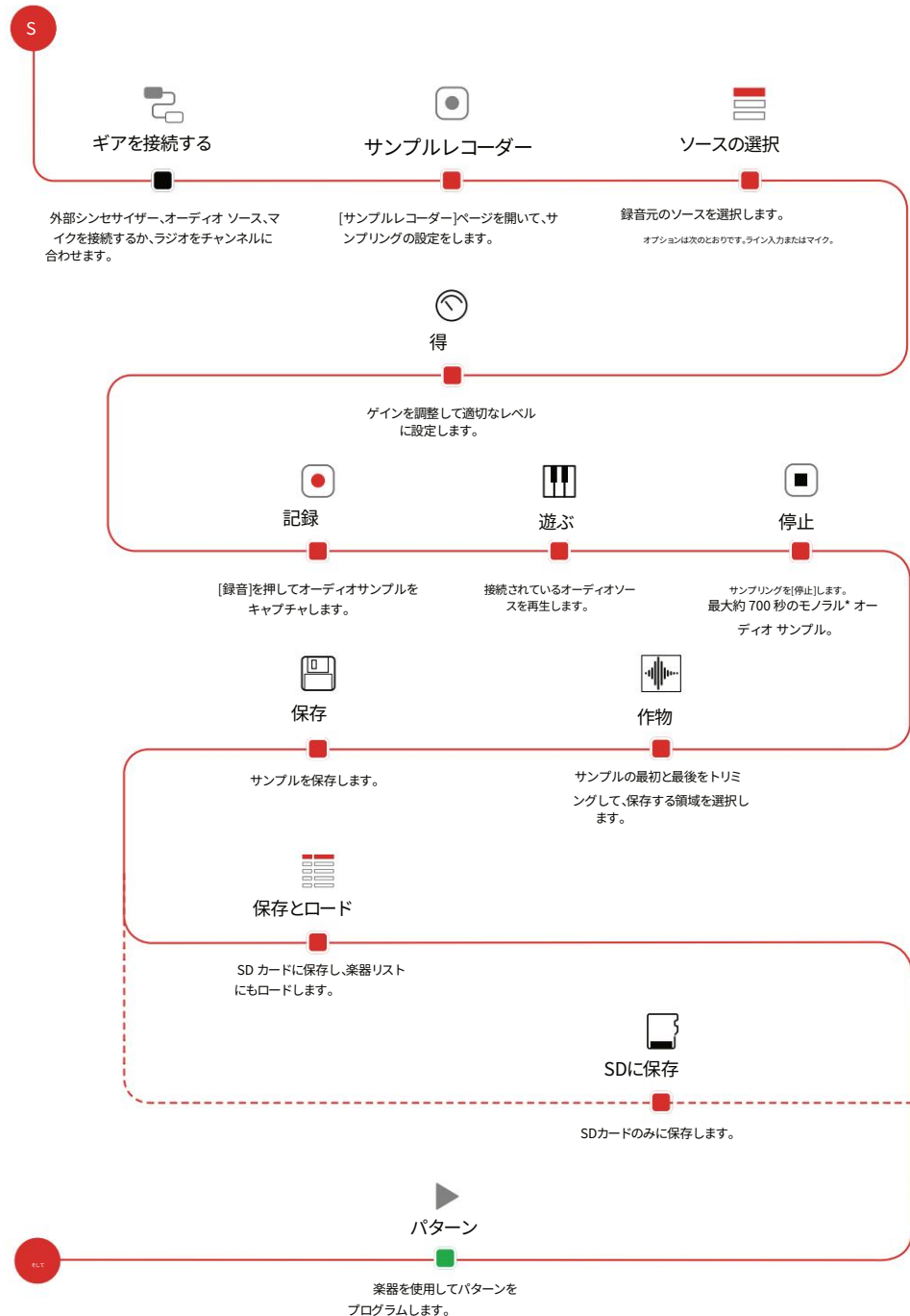
FX タイプの説明	
D	ステップのオーバードライブ量
L	ローパスフィルターのカットオフ。周波数を0~100%で表します
B	ローパスフィルターのカットオフ。0~100%で表される周波数
H	ローパスフィルターのカットオフ。周波数を0~100%で表す
s	遅延。送信効果の量 0-100%
t	リバーブ。センドエフェクト量 0~100%
...	ビット深度。4ビットから16ビット。
で	チューニング。 -24 半音から +24 半音。 4オクターブの音域。
F	スライドアップ量。範囲は 0 ~ 255 で、1/16半音単位で増加します。
J	スライドダウン量。範囲は 0 ~ 255 で、1/16半音単位で増加します。
**	MIDI アウト (CC,PC,Chan および Poly アフタータッチ)。チャンネルと楽器が必要です
b	MIDI アウト (CC,PC,Chan および Poly アフタータッチ)。チャンネルと楽器が必要です
c	MIDI アウト (CC,PC,Chan および Poly アフタータッチ)。チャンネルと楽器が必要です
d	MIDI 出力 (CC,PC,チャンネル,ポリアフタータッチ)。チャンネルと楽器が必要です。
...	MIDI アウト (CC,PC,Chan および Poly アフタータッチ)。チャンネルと楽器が必要です
f	MIDI アウト (CC,PC,Chan および Poly アフタータッチ)。チャンネルと楽器が必要です
0	MIDIコード、ノート出力。(Arp でも使用されます)。

ノート

オーディオ録音ワークフロー

Tracker Mini でのサンプリングは、「サンプルレコーダー」ページで行われます。これはプロセスの最初のステップであり、その後にはキャプチャされたオーディオの編集が続きます。

このページのサンプリングは、ライン入力またはマイクのオーディオソースから行うことができます。



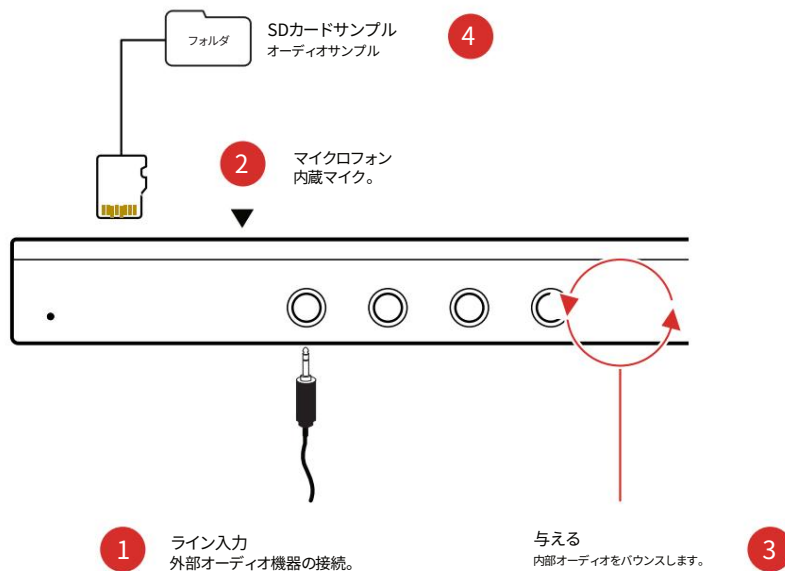
* サンプル時間、最大 ~700 秒のモノラルまたは ~350 秒のステレオ

トラッカー ミニの必需品

オーディオソース

Tracker Mini がオーディオにアクセスできるソースは多数あります。

そのうちのいくつかは「ライブ」ソースであり、簡単にサンプリングできます。その他はデバイス内で手動で管理またはレンダリングされます。



- 1 **ライン入力**
ステレオ (TRS) およびモノラル (TS) オーディオ入力を可能にする 3.5 mm 入力ジャック。ステレオ信号は録音時にモノラルに変換され、L & R チャンネルを個別に選択することもできます。
- 2 **マイクroフォン**
Tracker Mini には、フロント パネルにマイクが内蔵されています。これにより、ボーカル、環境音、一般的なオーディオを直接録音できます。
- 3 **与える**
内部関数で利用できる機能はレンダリングです。これにより、選択したパターン/トラックに基づいてオーディオ ファイルがバウンズまたはエクスポートされ、サンプルとしてすぐに利用したり、インストールメント リストから使用したりできます。
- 4 **SDカード**
オーディオ サンプルは SD カードに保存されます。これらは Tracker Mini 内からサンプリングして保存できますが、PC または Mac を使用して外部ソースから SD カードに手動で転送することもできます。

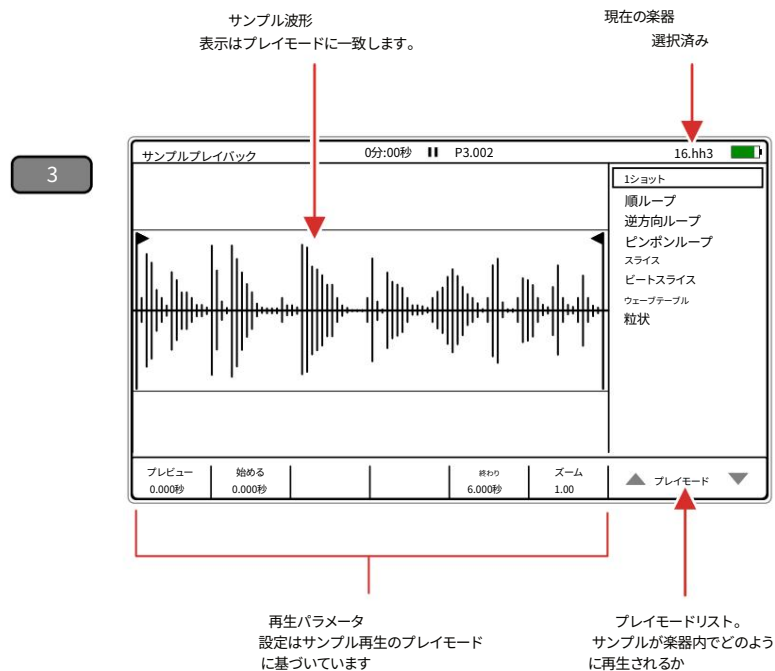
Tracker Mini には、3.5 mm ステレオ オス ジャック - 2 x 6.3 mm モノラル メス ソケット アダプターが付属しており、外部ギアとのインターフェースや、より一般的な 6.3 mm モノラル ケーブルの使用が可能になります。

サンプル再生の概要

インストゥルメントはサンプル、編集されたもの、または生のもののいずれかです。生の「.wav」サンプルをインストゥルメントリストに追加できます。サンプルを編集してインストゥルメントとしてさらに開発する場合、「drumkit1.pti」などの「.pti」インストゥルメントとして保存できます。これは、すべてのプロジェクトにわたって使用することも、他の Tracker プロデューサーに配布することもできます。

このセクションでは、.pti インストゥルメントの使用の基本について説明します。オーディオ サンプリングのエンドツーエンドのキャプチャ、編集、使用については、別の場所で説明します。

サンプルをインストゥルメントとしてどのように適用するかは、「Sample Playback」ページで処理されます。デフォルトでは [3] ボタンまたは [Menu] からアクセスできます。



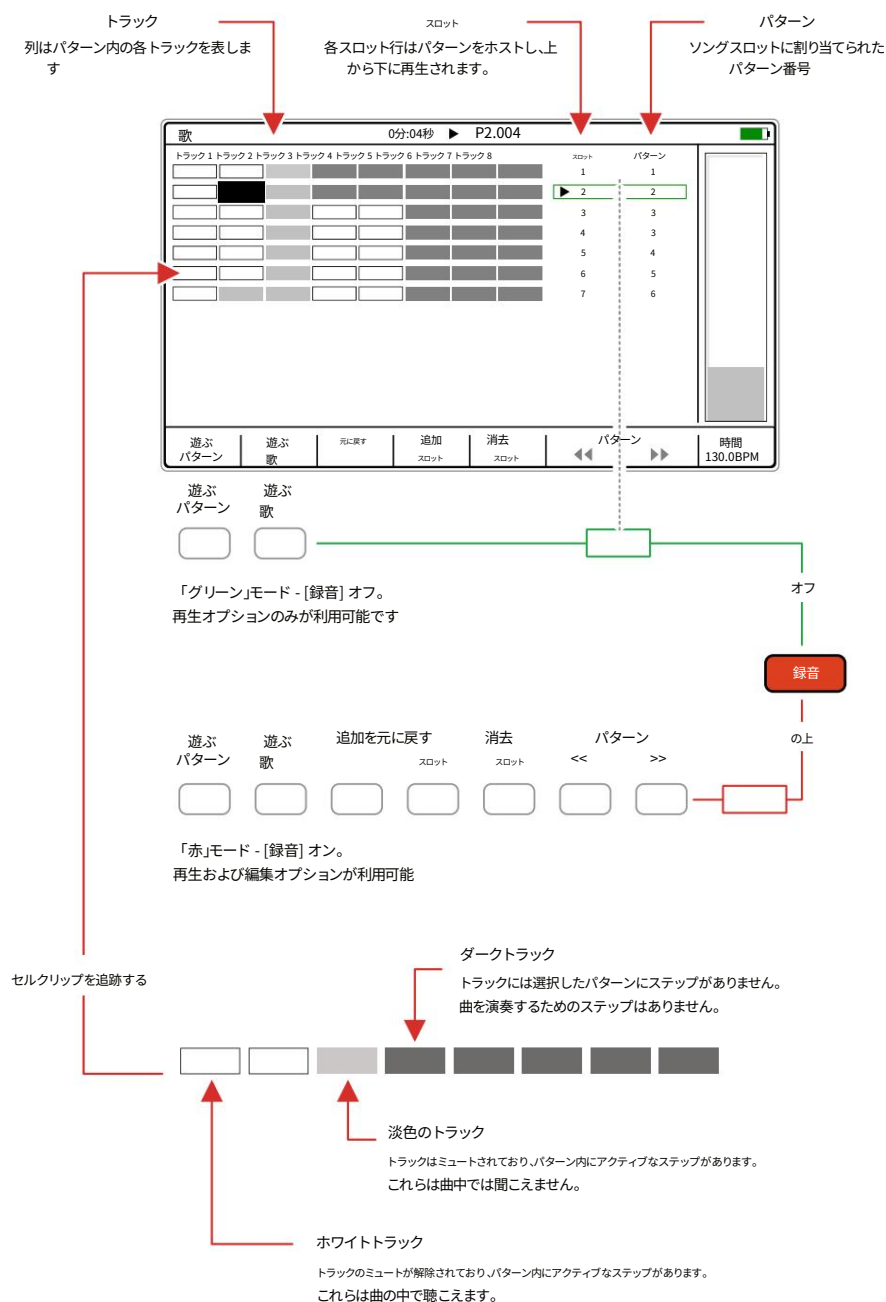
注: 再生時の波形表示では再生が視覚的にアニメーション化されませんが、プレビュー時には再生ヘッドが表示されます。

タイプ	プレイモードの説明	
遊ぶ	ワンショット	基本的なサンプル再生。最初から最後まで 1 回再生します。
ループ	順方向ループサンプル再生	再生は開始から終了までループで繰り返されます。
ループ	逆方向ループサンプル再生	最初から最後まで再生し、ループで循環します。
ループ	ピンポンループのサンプル再生	再生は開始から終了までループで開始されます。
スライス	スライス	サンプルをスライスします。ピッチベースのメロディーに使用します。
スライス	ビートスライス	サンプルはスライスされています。ビートベースの楽器に使用されます。
シンセサイザー	ウェーブテーブル	サンプルはシンセサイザーと同様にウェーブテーブルとして使用されます。
シンセサイザー	グラニューラー	サンプルグレインはグラニューラーシンセのように使用および再生されます

トラックー ミニの必需品

ソングモードインターフェース

[Shift] + [1] を押して曲のページを選択するか、[Shift] + [1] を押したままにすると、別のページ内からそのページが一時的に表示され、ボタンを放したときの状態に戻ります。ソングモードのインターフェイスは、パターン 1 の単一スロット 1 以外はデフォルトで空です。最大 255 のソング スロットが利用可能です。ソングモードで[Play]を押すと、個別のパターンだけでなくソングも再生されます。スロットのパターン内のトラックはセル クリップとして表されます。



トラックのミュート

ミュートはソングモードでは実行されません。ミュート/ミュート解除するには、パターン ページまたはトラック ミキサー - マスター ページ 2/3 を使用します。

トラッカー ミニの必需品

ノート

MIDI設定

MIDIを使用する場合の前提条件は、[Menu] からアクセスする「Config」オプションの設定が目的のMIDIギア設定に適用されていることを確認することです。これらは、Tracker Mini がクロックやトランスポートなどの機能をリードするか、または別のプライマリ デバイス制御からの制御や同期に反応してセカンダリ フォロワーとして機能するかどうかを決定します。また、Note や CC の動作も設定できます。

メニュー	オプション	説明
ミディ	クロックイン	Tracker Mini クロックを、内部生成クロック (デフォルト) または USB または MIDI In ジャック経由で受信した外部クロックの間で設定します。
ミディ	クロックアウト	Tracker Mini クロック出力を他のデバイスに送信します。オフ、USB、MIDI 出力ジャック、または USB+MIDI ジャックのオプション。
ミディ	搬入	トランスポート コントロール コマンドのソース、内部 (デフォルト)、または USB または MIDI 入力ジャック経由で受信した外部デバイスからのコントロールを設定します。
ミディ	搬出	Tracker Mini トランスポート制御コマンドを他のデバイスに送信します。オフ、USB、MIDI 出力ジャック、または USB+MIDI ジャックのオプションに設定します。
ミディ	ノートイン	外部デバイスからノートを受信する方法の入力を設定します。オフ、USB、MIDI 入力ジャック、または USB+MIDI ジャックのオプションに設定します。
ミディ	ノート入力チャンネル	外部ノート入力の MIDI チャンネルを設定します。すべてのチャンネルまたは Ch 1-16 を選択します。
ミディ	MIDI出力	他の機器と通信するための MIDI の出力ルーティングを設定します。オフ、USB、MIDI 出力ジャック、または USB+MIDI ジャックのオプションに設定します。
ミディ	CC入力	外部機器からのCC (コントロールチェンジ)入力の扱いを設定します。オフ、USB、MIDI In ジャック、USB+MIDI In ジャックに設定します。
ミディ	CCインチャンネル	CC (コントロールチェンジ)メッセージの受信に使用するMIDIチャンネルを設定します。[すべてのチャンネル] または [Ch 1 ~ 16] を選択します。
ミディ	ミドルC	Tracker Mini の中央の C を C-3、C-4、C-5、C-6 に設定します。これにより、ノート範囲が自然に一致しない場合、外部ギアに合わせて調整されます。
ミディ	クロック同期遅延	受信クロック同期のレイテンシ補正。同期エラーがない限り、デフォルトのままにしておきます。

ペロシティは外部 MIDI コントローラーから記録できますが、これは記録オプションで設定する必要があります。

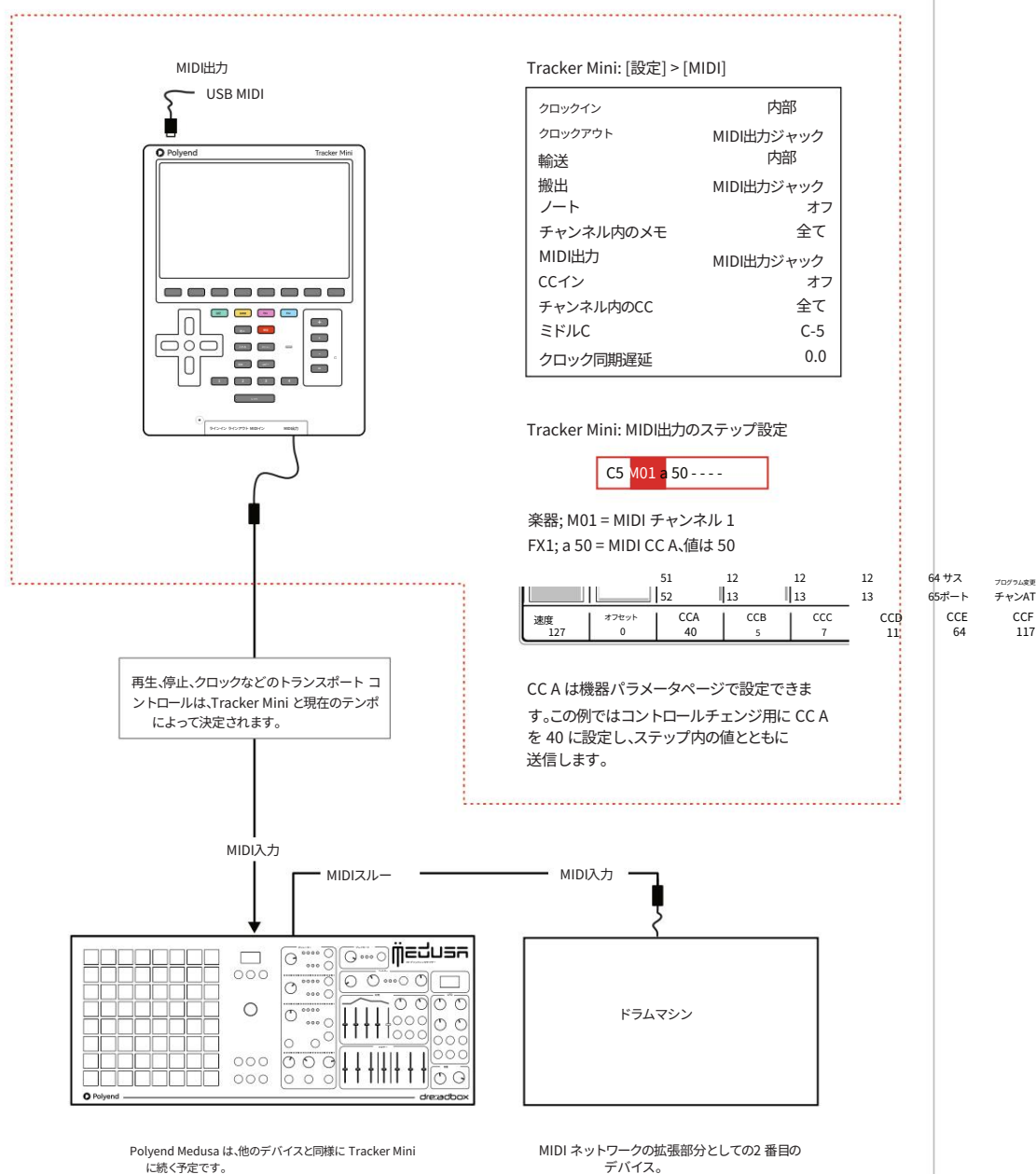
メニュー	オプション	説明
プロジェクト記録オプション		このオプションは、プロジェクトの記録オプションを設定します。外部コントローラーから速度を記録するには、速度を含むオプションの 1 つを選択する必要があります。

トラッカー ミニの必需品

一般的な MIDI 構成

MIDI 機器を使用してセットアップできる構成は数多くあります。複雑で複数のデバイスが関与するものもありますが、単純なセットアップでは 2 つのデバイスが通信できます。代表的な例をいくつか示します。

構成例 1: Tracker Mini をプライマリ リードとして使用します。



デバイスは、クロック、トランスポート、および Tracker Mini が通信する MIDI チャンネル (たとえば、チャンネル 1) を受信するように設定する必要があります。この例では、CC 40 In Medusa はフィルターのカットオフ周波数を表し、Tracker の各ステップでフィルターのカットオフが設定されます。

トラッカー ミニの必需品

ノート

パフォーマンスモードの概要

パフォーマンス モードでは、トラック、パターン、曲をリアルタイムで即興コントロールでき、ライブ演奏時にバリエーションと面白みを加えます。これは通常 [Menu] の「Perform」ページで処理されますが、MIDI 入力を設定してパフォーマンスパラメータを制御することもできます。

パフォーマンス モード[メニュー

]を押してオプションにアクセスし、操作します。「パフォーマンス」オプションを選択し、パフォーマンスモード画面を表示します。パラメーターの編集とエフェクトの設定は、[Rec]録音モードで処理されます。パフォーマンスモードがアクティブな間、パターンページとソングページを切り替えることができます。

パンチンパラメータ4エフェクトパラメータ値。
[+],[+],[-],[-]でトリガー

スロットトリガーの実行各 [+]/[-]
ボタンは、それぞれのエフェクト値行をトリガーします。
エフェクト値は行1で設定可能で、デフォルトではオフ(--)に設定されています。

選択したエフェクトは、トラッカー ミニ画面上で緑または赤 (編集の場合) で表示されます。

録音

REC モード[Rec]

を押して実行設定を編集します。選択内容は、エフェクト選択の境界ボックスと同様に赤で表示されます。エフェクトの設定と値の編集は、Perform の Rec モードで行うことができます。

トラックーミニエッセンシャル

実行エフェクトリスト

Tracker Mini には 21 のパフォーマンス エフェクトがあり、12 のエフェクト スロットのそれぞれに選択してロードできます。同じ効果を複数のスロットに適用することもできます。これらはエフェクトと呼ばれていますが、実際にはパラメーター値に変化を与えるパラメーターを制御します。

効果 #	名前	範囲/コメント
1	音量	-100 ~ +100。 音量調整
2	パンニング	-100 ~ +100 ステレオポジション
3	曲	-48 ~ +48 半音。MIDIにも適用されます。
4	ローパスカットオフ	-100 ~ +100。 フィルター周波数調整
5	ハイパスカットオフ	-100 ~ +100。 フィルター周波数調整
6	バンドパスカットオフ	-100 から +100 まで。 フィルター周波数調整
7	リバーブセンド	-100 ~ +100。 FXセンドレベル
8	遅延送信	-100 ~ +100。 FXセンドレベル
9	サンプル位置	-100 ~ +100。 音声サンプルの開始位置
10	サンプル終了	-100 ~ +100。 音声サンプルの終了位置
11	サンプルの再生	<<< >>> 後進、前進方向。
12	ボリューム LFO スピード	-28 ~ +28。 LFO スピード
13	LFO のパンニング速度	-28 ~ +28。 LFOの速度
14	LFO速度を微調整する	-28 ~ +28。 LFOの速度
15	フィルターLFOスピード	-28 ~ +28。 LFOの速度
16	グレイン/WT LFO スピード	-28 ~ +28。 LFOの速度
17	ステップリピーター	オフ、16、12、8、6、4、3、2、1、1/2、1/3、1/4、1/6、1/8、1/12、1/16。
18	パターンプレイモード	前進、後進、後進、C1-C20 固定または事前定義されたアルゴリズム「C」再生モード
19	パターンの長さ	1-128 合計の長さ (すべてのトラック - 選択されているかどうか)
20	ビット深度	-12 から +12 ビット深度調整
21	オーバードライブ	-100 ~ +100 オーバードライブ調整

ノート

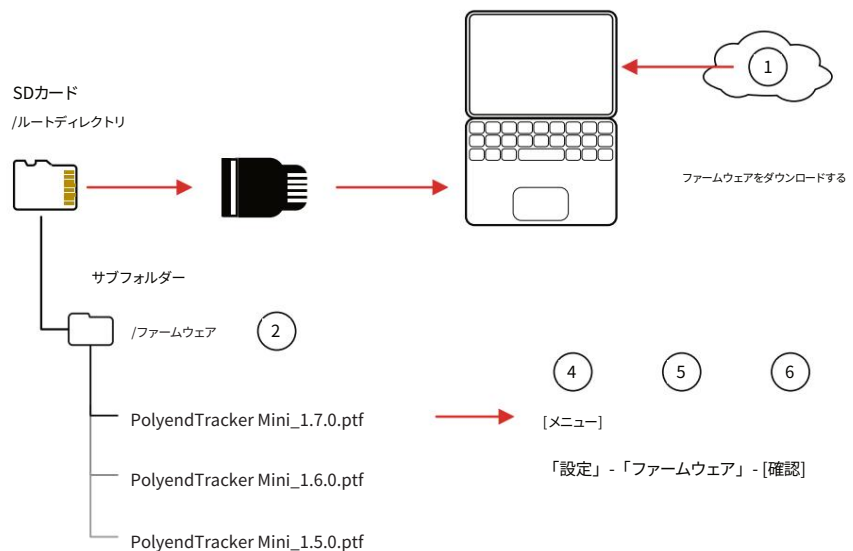
ノート

汎用ファームウェアアップデート

バグを修正したり新機能を追加したりするために、Polyend からファームウェアのアップデートが随時提供される場合があります。更新プロセスはいくつかの方法で実行できます。アップデートを実行するときは、各アップデートに付属の Polyend の指示に従うことを強くお勧めします。ここでの手順は一般的なガイドです。

■ ファームウェアのアップデート

1. 最新のファームウェアをダウンロードします。デバイスのファームウェアアップデートにアクセスする Polyend に登録したアカウントから。
2. ダウンロードした .ptf ファームウェア ファイルを /Firmware フォルダにコピーします。このフォルダは SD カードのルート ディレクトリにあります。
3. SDカードをTracker Miniに挿入し、電源を入れます。
4. [Shift] + [4] を押すか、[Menu] を使用して「Config」メニューを選択します。
5. 「ファームウェア」メニューに移動します。中央のウィンドウで、インストールするファームウェア オプションを選択します。
6. [確認]、画面ボタンを押します。
7. ファームウェアがインストールされ、画面に表示されるプロンプトに従って操作します。インストール プロセスは通常 1 分未満です。
8. Tracker Mini が再起動しますが、アップデートが 100% 完了した後に手で起動する必要がある場合は、[オン/オフ] を押します。



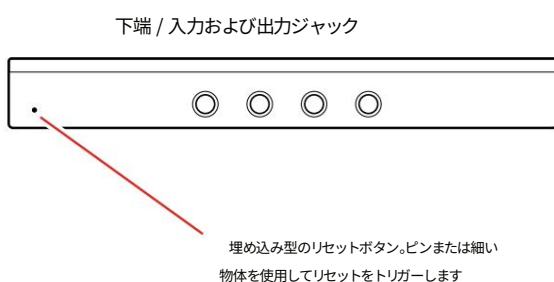
トラッカー ミニの必需品

緊急ファームウェアアップデート

ファームウェアのアップデートは、登録済みデバイスの Polyend ポータルから入手できます。緊急事態に備えて、リセット ボタンが背面パネルの後ろに埋め込まれています。アップデート方法に問題がある場合、または Tracker Mini の問題を解決するためにリセットを実行できますが、アップデートの通常のプロセスとして使用しないでください。

■ トラッカーMIDIとファームウェアのリセット

1. 最新のファームウェアをダウンロードします。デバイスのファームウェアアップデートにアクセスする Polyend の登録アカウントから。
2. ダウンロードした .ptf ファームウェア ファイルを /Firmware フォルダにコピーします。これは SD カードのルート ディレクトリにあります。また、以前のアップデート ファイルがファームウェア フォルダに残っていることも確認してください。
3. SD カードを Tracker Mini に挿入します。
4. ピンまたは細いものを使用して、内部リセット ボタンを押します。このボタンは、デバイスの下部の入力ジャックと出力ジャックの左側にあります。
5. Tracker Mini はリセットされ、SD カード上のファームウェア フォルダを検索します。あ Tracker Mini を動作状態に回復するために、ランダムなファームウェアが選択されてインストールされます。インストール プロセスの所要時間は通常 1 分未満です。



リセット オプションは、Tracker Mini でハングアップやフリーズが発生した場合に役立ちます。このような状況では、新しい OS をダウンロードする必要はありません。シリーズの正式な既知の正常なファームウェア リリースを /firmware フォルダに保存することをお勧めします。たとえば、1.5.0、1.6.0、1.4.0 などです。そうすることで、問題が発生した場合にステップ 4～5 を実行でき、既知の状態からランダムな更新が実行されます。その後、「構成」メニューで最新バージョンを選択する手動更新を行うことができます。

クイックリファレンスコマンド

ファンクションボタン[1]~[4]はデフォルトで割り当てられているものとします。D-Pad ナビゲーションは丸括弧 () 内で参照されます。動的画面キーは斜体で表示されます。

機能アクション	トラッカーミニボタン	説明
マスター	マスターボリューム [Shift]+[+]または[-]を押したままにします	マスター出力を調整します。+/- は微調整と粗調整のオプションを提供します。(上) または (下) も使用します。
一般的な	一般的なナビゲーション (上)、(下)、(右)、(左)	D-Pad。通常はナビゲーション、スクロール、メニューの選択とオプション
一般的な	コピー [コピー]	コンテキストに応じて、機能間でコピーと貼り付け (パターンのコピーなど)が行われます。貼り付けるには、[Shift]+[コピー]を使用します。
一般的な	消去 [消去]	状況に応じて削除させていただきます。選択したパラメータをデフォルトの状態にリセットします。ソフトからバックスペースへの併用も可能
パターン	パターンモードページ[1]	パターンモードのページを選択します。ボタン 1 は、構成可能なページ設定のパターン ページにデフォルトで割り当てられています。
パターン	プレイパターン [遊ぶ]	パターンを最初から再生します。パターンがすでに再生されている場合は、パターンを停止/一時停止します。パターンの途中で一時停止した場合は再生を再開します。
パターン	プレイを続ける [Shift]+[再生]	現在一時停止している位置からパターンの再生を再開します
パターン	8トラックノートビュー [1]+[ノート]	デフォルトの 4 トラックではなく、ノートのみを含む 8 トラックすべてを表示します。+[FX1],[FX2],[Instrument]の 2 つの要素を表示できます
パターン	8トラックインストビュー [1]+[インストゥルメント]	4 トラックではなく、インストゥルメントのみを含む 8 トラックを表示します。+[FX1],[FX2],[Note]の 2 つの要素を表示できます
パターン	8トラックFXビュー [1]+[FX1]または[FX2]	デフォルトの 4 トラックの代わりに FX のみを使用して 8 トラックすべてを表示します。+[音符],[楽器]の 2 つの要素を表示できます
パターン	4 トラックビュー [1]	8 トラック表示時にデフォルトの 4 トラックを復元します
パターン	パターンの選択 [1]+(上)、(下) または [+] / [-]	番号でパターンを選択します。
パターン	順次変更 [1]+(左) または (右)	再生中に、現在のパターンが終了したときに再生を開始するようにキューする新しいパターンを選択します。パターンが赤く点滅します。
パターン	順次変更[パターン]+(左)または(右)	再生中に、現在のパターンが終了したときに再生を開始するようにキューする新しいパターンを選択します。パターンが赤く点滅します。
パターン	即時変更 [1]+(上) (下) または [+] / [-]	再生中に、トリガーする新しいパターンを選択し、すぐに同期して再生を開始します。
パターン	即時変更[パターン]+(上) (下) または [+] / [-]	再生中に新しいパターンを選択すると、同期してすぐに再生が開始されます。
パターン	複数ステップ選択[Shift]+(上)(下)(左)(右)複数のステップの範囲を選択して一括編集します。	
パターン	一番上の行を選択 [Shift]+[Insert]	停止すると、再生ヘッドが最上行の開始位置にリセットされます。
パターン	複数のステップを選択 [Shift]+(上)最初のステップの場合	現在選択されているトラックのすべてのステップを選択します
パターン	複数のステップを選択 [Shift]+(上) (上)最初のステップの場合すべてのトラックのすべてのステップが選択されます	
パターン	トラックをミュートする [Shift]+[スクリーン]ボタン	パターンモードページでは、画面ボタン 1 ~ 8 でトラック 1 ~ 8 のミュートまたはミュート解除をそれぞれ切り替えます。
パターン	パラメータ選択専用パラメータボタンをタップ	編集またはナビゲートするときに、ノート、インストゥルメント、FX1 または FX2 パラメータの選択をロックします。
パターン	武装/武装解除 [Shift]+[Rec]+[Screen]ボタン	トラックの録音を許可または解除します。解除されたトラックでは録音できません。画面のボタンはトラックを表します。
パターン	ライブ録音開始 [Shift]+[録音]	ライブ録音を開始します。パターンにノートを録音するには外部キーボードが必要です。
パターン	ライブ録画 > 再生 [レック]	ライブ録音中に [Rec] を押すと再生は継続されますが、録音モードは終了します。

トラッカー ミニの必需品

1.12 クイックリファレンスコマンド

ファンクションボタン[1]~[4]はデフォルトで割り当てられているものとします。D-Pad ナビゲーションは丸括弧 () 内で参照されます。動的画面キーは斜体で表示されます。

関数	アクション	トラッカーミニボタン	説明
ソングモードソング		[Shift] + [1]を押します	[Song]を押すと曲ページに切り替わります。
ソングモードソング		[Shift]+[1]を長押し	ボタンを押し続けると、別のページ内、つまりパターンページからソングページが一時的に表示されます。[Shift]の前に[1]を放します
曲モード選択行		(上) (下) または [+]/[-] を押します	曲の行スロット/パターンをナビゲートします。1行選択可能
ソングモード 先頭行を選択	[Shift] + [Insert]		停止すると、再生ヘッドが最上行の開始位置にリセットされます。
ソングモード ソングを再生する	[遊ぶ]		選択したスロット/パターン行の先頭からソングを再生します。
ソングモード ストップソング	[遊ぶ]		曲の再生を停止/一時停止します。もう一度 Play を押すと、現在のスロット/パターン行の先頭から曲が再開されます。
ソングモードループロウ	[Shift] + [再生]		現在の曲のスロー/パターン行をループ再生します。 基本的には選択したパターンを再生します。
ソングモードのテンポ	[テンポ] + (上) (下) を押し続ける		プロジェクトのテンポを 40 - 800 BPM の範囲で 1 BPM 単位で調整します。
ソングモードのテンポ	[テンポ] + [+]/[-]を押し続ける		プロジェクトのテンポを調整します。外側 +/- を使用する場合は 10 BPM 刻みで 40 ~ 800 BPM、内側 +/- を使用する場合は 1 BPM 刻みで調整します。
実行する	実行する	メニューを使用して実行を選択する	
実行する	遊ぶ	[遊ぶ]	現在のパターンをループ再生します。再生も停止します。
実行する	遊ぶ	[Shift] + [再生]	曲をループ再生します。パターン/ソング再生も切り替えます。
実行する	編集	[録音]	編集モードが選択されました。ナビゲーションとスロットの値は赤色で表示されます。
実行する	列を移動 (左) または (右)		12 個のエフェクト スロット列から 1 つを選択します。
実行する	選択する	[トラックx]	トリガーされたエフェクトを適用するトラックを選択します。赤いラベルが付いたトラック。
実行する	トリガーエフェクト	[+],[+],[-],[-]	押している間、エフェクト値スロットの 1 つを実行、グリーン モードでトリガーします。Rec モードでは、これにより値を編集できるようになります。
実行する	録音モード時	(上下)	現在のスロットのパフォーマンス効果を変更します
実行する	録音モード時	[Shift] + (左) または (右)	スロット間で効果を交換する
実行する	録音モード時	[+]/[-] + (上) または (下)	それぞれのエフェクトと行のエフェクト値オフセットを編集します
実行する	リミックス	[トラックx] + (上) (下) または [+]/[-]	選択したトラックに新しいパターンをロードします。すぐに再生されません。ライブリミックスモード。
実行する	リミックス	[トラックx] + (左)または(右)	現在のパターンが完了したら、選択したトラックに新しいパターンを準備します。ライブリミックスモード。
実行する	ミュート/ミュート解除	[Shift] + [トラックx]	選択したトラックをミュートまたはミュート解除します

フルトラッカー ミニ マニュアルは Polyend アカウントからダウンロードできます。

Copyright © 2024 by ポリエンド

無断転載を禁じます。本書またはその一部は、書評での短い引用の使用を除き、出版社の書面による明示的な許可がない限り、いかなる方法でも複製または使用することはできません。

2024 年 3 月 - Tracker Mini OS 1.1.0

マニュアル Rev 5

マニュアルは英国で制作されました

による

シンセドッグ

www.synthdawg.com



